



理事長
春名 眞一

一般社団法人日本鼻科学会は、1962年に鼻副鼻腔研究会として発足しました。1965年に日本鼻副鼻腔学会となり、1983年に日本鼻科学会と改名、1985年(第13期)からは学術研究団体として日本学術会議に登録され、発足以降60年間わが国の鼻科学の発展に貢献しております。特に近年は、鼻科領域においてがん・免疫・アレルギー・感染症・嗅覚研究のニーズが高まっておりますので、学会運営のさらなる充実を図っており、若手耳鼻咽喉科医に向けた以下の取り組みをしております。

1. 若手医師の育成を中心に、ハンズオンセミナーに力を入れています。臨床ハンズオンセミナーでは敷居の高い手術を実践的な方法で全国の著名医師に直接指導を受けることができる機会の創出を推進しています。

また基礎ハンズオンセミナーでも基本的な研究手技や動物解剖などをまとめたプロトコール集を作成しながら、分かりやすく指導し、研究に興味を持っていただくよう努めています。



2. 国際化プログラムを学会中に開催し、若手医師の海外発表や英語論文の作成を指導しています。

3. 学会中に若手奨励賞を企画したり、45歳以下を対象とした鼻科学会賞や、同じく45歳以下の外国人留学医師を対象とした特別奨励賞を選出するとともに、鼻科学会誌から2名の優秀論文賞を選出し、それぞれ副賞を授与しています。



若手奨励賞

4. 国際学会への参加支援を考えております。日本鼻科学会の会員は、国際鼻科学会、ヨーロッパ鼻科学会、アメリカ鼻科学会、韓国やアジアなど多くの国々に参加しております。学会情報はもとより、今後、国際学会への参加に際して援助を検討していきます。

5. 若手医師との交流を学術のみならず、学会終了後に有志によるサッカー交流試合とその後の食事を企画しています。



日本鼻科学会 60周年記念式典